

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.106

萩ジオパーク推進協議会

| 2024年1月1日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject

年
賀



© Naoko.M.

紙芝居「龍が通った道～メグとドラゴンのものがたり～」より

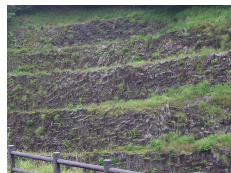
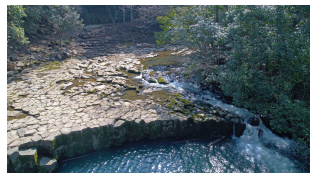
新年おめでと
うござい
ます。
本年もよろ
しくお願
いいたし
ます。

萩ジオパークにとって日本ジオパーク認定5周年の節目の年となった2023年は、4月から笠山山頂展望台を「鳶ノ巣」として、当協議会が一体的な管理運営を始めたことにより、鳶の目線でゆったり過ごす空間が生まれ、ジオパークパートナーや笠山ジオの会、至誠館大学と連携したイベントを開催したことで、多くの方々にお立ち寄りいただきました。9月には、萩市民館でジオパークフェスティバルを開催し、10月から11月にかけて各地域のイベントに出店して、協議会の皆様をはじめとする多くの方とつながった1年となりました。

また、協議会発足以来、皆様と行ってきた取組が、他のジオパークの模範となる事例「グッドプラクティス」として、日本ジオパークネットワークから表彰されました。これまで活動に取り組んでこられた皆様方に敬意を表するとともに、ご支援をいただいた関係各位に深くお礼申し上げます。

新たな年を迎え、2024年もこれまでと同様に関係自治体及び市民の皆様と一体となって、市民向けの講座や、学校でのジオパーク学習などによる理解増進、ジオツーリズムの充実や、拠点施設の管理運営による地域経済への貢献、イベントの開催による情報発信などに努めることで、多くの方に地球の目線からの萩の魅力を体験していただけるよう更なるジオパーク活動を展開してまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

萩ジオパーク推進協議会事務局



令和6年は辰年です。

萩ジオパークで「辰・竜」と言えば「龍が通った道」。新たな気持ちで「龍が通った道」に行ってみませんか？

「大地の日」を開催しました！



12月17日にミニイベント「大地の日」を萩セミナーハウスで開催しました。野外では「大地の遊び人ひろば」と称して、たき火、鉄なべ料理、珈琲焙煎などを楽しんでいただきました。室内ではゲームや実験、工作で地球や萩の大地を学ぶ「こども地球の学校」を行いました。

最高気温5℃、時折吹雪くような厳しい天候でしたが、そんな中、十数組の方々にお越しいただきました。なんと、中には宇部市や益田市など、車で1時間以上もかかるようなところからわざわざ！嬉しいですね。

寒さに凍える1日でしたが、来場者の方々とゆっくりお話できたり、出展者同士で交流できたり、充実した時間を過ごせました。

「大地の日」は1/21（日）、2/11（日）も開催します。お気軽に遊びに来てください～（次回はもう少し暖かいといいな...）。

科学コミュニケーターに企画づくりのコツを教わりました



12月23日に、萩ジオアカデミー特別編「創ろう！『大地と人のつながり』を感じるプログラム」の第1回をオンラインで開催しました。

東京の日本科学未来館で、科学と一般市民の橋渡し役として大活躍中の科学コミュニケーターである花井智也さんを講師にお

招きし、魅力的な教育プログラムやイベントの作り方を考える全2回の講座の初回です。

「企画づくりのコツって何だろう」と題して、未来館の取り組みや企画づくりのノウハウを紹介いただき、後半にはアイデアの出し方（ブレインストーミング）を実際に受講者の皆さんと体験しました。

受講者の皆さんから沢山の質問が飛び出したり、アイデア出しの作業では講師が驚くほど活発に意見が出たり、大変盛り上がり充実した2時間でした。萩で現地開催する第2回もとても楽しみです。

筑波大学と筑波山地域ジオパークに行ってきました

授業や研修の講師の依頼をいただき、12月9日～10日に白井専門員が筑波大学と筑波山地域ジオパークに行ってきました。

筑波大学では、大学院生向けの集中講義「ジオパーク論」で約2時間半の授業を行いました。ジオパーク的な視点の紹介と、それを地域の方々と共有していく様々な手法について、萩ジオパークの取り組みを例にお話ししました。日本の未来を背負う若くて優秀な学生の皆さんに、ジオパークの取り組みを知っていただく貴重な機会になりました。



筑波山地域ジオパークでは、認定ジオガイド・スキルアップ研修の講師を務めました。ジオツアー等で活躍されているガイドさんたちと、“伝える”ガイド手法について一緒に考える半日の内容です。萩のジオガイドの皆さんにお願いして一部オンラインで萩とつくばを結びましたが、ツアーの企画方法やガイド団体の運営等についての質問がたくさん出て盛り上がりました。

筑波山ゲートパークにも行ってきました



筑波山地域ジオパークの新しい拠点施設「筑波山ゲートパーク」が11月にオープンしました。筑波山ゲートパークは、2018年に廃校になった中学校の校舎を自転車とジオパークの拠点としてリノベーションされた施設です。今回の出張の際に見学してきましたので、ちょっとご紹介します。

校庭だった場所には本格的なレースもできる巨大なBMXコースがあり、関東中から多くの方が練習をしに来られているそうです。校舎の1階部分には筑波山地域ジオパークを紹介する展示があります。スマートボールやすごろく、砂場遊びができるコーナーなど、子どもから大人まで楽しみながら大地の成り立ちや人の暮らしとの関わりを知ることができるように工夫されています。展示以外にも、日本各地のジオパークのパンフレットが並ぶ情報コーナーがあったり、研修やワークショップに使える部屋が整備されていたり、“活動拠点”として使いやすそうな印象でした。観光客の皆さんも、地元の皆さんも、多くの方々が立ち寄って賑わう場所になっていくのではないのでしょうか。

大井ふるさと愛好会から 萩市ジオパーク活動補助金の活動状況報告がありました

9月に交付決定を受けてすぐに専門委員会を開催し、事業内容やスケジュールを確認しました。

10月29日には、大井ふるさとまつりで「ジオの視点から見た鶴山台」の展示を、11月5日には、萩市立大井小中学校小学部の遠足を兼ねた学習会を、11月19日には、山口県立萩高校奈古分校の文化祭で研修成果発表を行いました。只今、鶴山台に設置する案内板を作成中です。3月にはウォーキングイベントの開催を予定していますので詳細が決まり次第ご紹介します。



奈古分校での展示

日本ジオパーク再認定審査結果について

12月14日（木）、日本ジオパーク委員会（JGC）が開かれ、今年度の対象5地域の再認定の可否について審議され、以下の結果となりました。

○再認定 三陸ジオパーク、Mine秋吉台ジオパーク、栗駒山麓ジオパーク

○条件付き再認定 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク、佐渡ジオパーク

（詳しくは日本ジオパーク再認定審査結果 (geopark.jp) https://jgc.geopark.jp/files/20231214_01.pdfをご覧ください）

再認定審査は、活動の進捗状況を確認し、質の向上のために4年に1度実施されます。認定後4年間の取組について審査されますが、合否を決める「試験」ではなく、体の調子を見る「健康診断」のようなものです。JGCが「早急に解決を要する重要な問題点があると判断した場合」にいわゆるイエローカードと呼ばれる「条件付き再認定」となります。イエローカードが出た地域はJGCや日本ジオパークネットワーク事務局等のフォローを受けながら「治療法」をみんなで考え、通常4年後ではなく2年後に再審査を受けます。審査結果から改めて萩での取組を振り返ってみませんか。

日本ジオパーク
再認定審査結果



笠山山頂展望台鳶ノ巣から新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。笠山山頂展望台鳶ノ巣カフェは、1月4日から本年の営業を開始します。今年もお客様が快適に鳶の目線で人の暮らしをまわりの景色と合わせて堪能できるような空間づくりや、様々な団体と連携したイベントを企画し、実行してまいります。変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年12月26日笠山椿群生林で椿の開花宣言が行われました。着蕾状況は例年並みとのことで、これから緑の中に咲くヤブツバキが見られ、2月中旬から3月下旬に見ごろを迎えます。当店インスタグラムで開花の状況などを逐次紹介してまいりますので、是非フォローしてチェックしてください。

笠山山頂カフェ
Instagram



1月の予定

● 萩ジオアカデミー特別編「創ろう！「大地と人のつながり」を感じるプログラム（第2回）」 1月21日（日）10:00～16:00 場所：萩セミナーハウス 内容：子どもから大人まで楽しく学べるプログラム作りと実践（全2回講座） 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

● 第2回「大地の日」 1月21日（日）10:00～15:00 場所：萩セミナーハウス 内容：アウトドア体験や工作・実践教室などで、楽しみながら“大地と人のつながり”を感じていただくミニイベント（2ページ参照） 参加費：無料（一部有料） 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）